

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都多摩市鶴牧1丁目26-3
園名	キッズサポート多摩第二めぐみクラブ

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

動く

<テーマの設定理由>

“物が動く仕組みや原理を知りたい“という子ども達の興味関心が高く、製作好きなクラスなので、自分達でつくって遊べる経験を沢山出来たらよいと思い、“動く”をテーマに、作った物で遊べるようにテーマを設定した。

### 2. 活動スケジュール

春 風で動く

- ・かざぐるま
- ・エアードリーム

その他 動作で動く ポーリングなど

夏 水が動く

- ・ウォータースライダー
- ・ウォーターテーブル

秋冬 ボードゲーム

→クラスで“ゲーム屋さん”をつくる

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・かざぐるま：折り紙、針金、ストローなど / 環境→戸外で使用
- ・エアードリーム：ゴミ袋、テープなど / 環境→扇風機、サーキュレーター使用
- ・ポーリング：ペットボトル、カラーテープ、カラービニールテープ
- ・ウォータースライダー：牛乳パック、ペットボトル / 環境→園庭 水遊び時
- ・ウォーターテーブル：パネル、結束バンド、ホース、チューブ、じょうろなど
- ・ボードゲーム：段ボール、木材、プラスチック版、トイレットペーパーの芯

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

春 風で動く

- ・かざぐるま
- ・エアードリーム

その他 動作で動く ・ボーリング

夏 水が動く

- ・ウォータースライダー
- ・ウォーターテーブル

秋冬 動作で動く ・ボードゲーム

水の中で雪が動く ・スノードーム

クラス全体で“ゲーム屋さん”をつくり保護者や他クラスを招く

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

・計画中からアイデアや創作意欲がどんどんわいてくる子ども達。保育者からはどんなものを作りたいか？どんなことをやってみたいか？を問いかけ、子ども同士で話し合いを行い、アイデアを少しずつ形にしていった。

・かざぐるまやエアードリームは、やりたい児で作り、クラスみんなで遊ぶ形としたが、とても楽しみ何度も遊ぶ姿が見られた。

・ウォータースライダーはチーム毎に分かれて進め、牛乳パックを使った簡単な物から、本格的なウォーターテーブルまで何度も試行錯誤をしながら進めていった。そのため出来上がった後の満足感が大きく、夏の終わりまで飽きずにじっくりと楽しんでいた。

・ボードゲームはみんなでゲームの案を出す所から始め、やりたいゲーム毎に分かれ、グループ別に活動を進めた。木材など初めての材料を使用し、遊びながら、友だちと相談しながら作り上げていった。「もっとゲームをつくりたい」と希望する声が多くなったので、追加で自由参加のゲーム作りも行えるようにした。

全部で10個ほどゲームができたので、部屋にゲームを配置し、ゲーム屋さんをOPENした。保護者や他クラスに遊びにきてもらい、喜びながら遊んでいる子ども達の姿が印象的だった。



活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付してください。

## 5. 振り返り<振り返りによって得た先生の気づき>

最後のゲーム屋さん作りでは、子ども達が意欲的にやってみたい事を日々の会話の中で出し合い、イメージや考えを引き出しながらクラス一丸となって取り組んでいった。

今年のすくわくの活動では、子ども達の協調性ややる気、最後までやりきる経験、簡単な物から作り始め、試行錯誤を繰り返しながら完成していくことなど、大きな成長が感じられた。

また、友だちと一緒に協力して作り上げる活動を多く行った事で、自分の意見だけではなく他人の意見を受け入れたり、認め合ったりという事が出来るようになった。その結果、全く別の活動でも、他人の意見を聞き入れたり、協力する事が出来るようになっていった。

自分達で作ったゲーム屋さんで家族と遊ぶ機会(行事)を設けたり、他クラスを招いたり自分達が製作した作品で周りの人と一緒に楽しむことが出来、良い経験となった。子ども達は満足感と達成感を味わうことができていた。

今後も子ども達の声を大切に、心に残る体験ができるようにサポートしていきたい。